

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医務費

事業名 医師版移住定住促進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療福祉連携推進課 医療人材確保係

電話番号：058-272-1111 (内 2625)

E-mail：c11230@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,200 千円 (前年度予算額：1,200 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,200	0	0	0	0	0	0	0	1,200
要求額	1,200	0	0	0	0	0	0	0	1,200
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

県内の医師数は全国平均数を大きく下回っており、医師不足は深刻な状態となっている。

人口10万人あたり医療施設従事医師数	全国平均	240.1人
〃	岐阜県	208.9人

県内での医師の育成、定着については、初期臨床研修医や専攻医の確保対策として既に様々な取組みを行っている。今後は、県内外の都市部で勤務している医師を岐阜県へ呼び込むことにより、さらに医師数を増やしていく必要があり、なかでも、へき地の医療機関や岐阜圏域以外の医療機関に勤務できる経験豊富な医師を確保する必要がある。

(2) 事業内容

- ア 県内外の都市部等で勤務している比較的高齢な医師や岐阜県に興味を持つ医師と個別面談及び視察体験等の実施
- イ 医師確保に向けた市町村の体制の底上げを図るため、県とへき地診療所

を抱える市町村で構成する医師の移住定住研究会を設置
ウ 岐阜県の地域医療の勤務を紹介するリーフレットの作成・配布

(3) 県負担・補助率の考え方

・ 県単独事業

(4) 類似事業の有無

移住定住プロジェクト推進費（清流の国づくり政策課）

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	625	医師のマッチング等招聘旅費、職員面談旅費
需用費	476	リーフレット作成、資料代等
役務費	53	通信運搬費
使用料及び賃借料	46	研究会会場借上げ
合計	1,200	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

人づくり分科会における人材確保・育成施策として議論・検討されている。

(2) 国・他県の状況

地域医療視察・体験事業（北海道）

(3) 後年度の財政負担

都市部から医師の流入を図る取組であることから、へき地に勤務する医師が十分に確保できるまでは継続する必要がある。

(4) 事業主体及びその妥当性

県が中心となって、市町村個別の医療機関のリクルートには限界があり、県として岐阜県の医療全体をPRし、岐阜県での勤務に興味がある医師の情報を収集する必要がある。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県外で勤務している医師を岐阜県に呼び込み、地域医療に従事する医師を増やし、どの地域にあっても、誰もが不安なく医療が受けられる体制を整える。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
医師視察人数	(H)	0人 (H31)	2人 (R2)	- (R)	10人 (R4)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

県ホームページによる周知及びリーフレットの作成・配布を予定している。

また、次年度における新規事業について検討をした。

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

岐阜県の地域医療に興味のある県外医師に対して、岐阜県での移住を考えてもらう契機となった。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	県外医師の確保が県内の医師不足の解消につながるため、必要性が高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) —	研究会の立ち上げ及びリーフレットの作成段階のため、現時点では有効性が判断できない。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	地元出身医師へ効果的にアプローチするため、へき地診療所を有する市町村を研究会の構成メンバーとしている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 リーフレットの活用状況を踏まえ、課題等を把握し、改善等の検討及び事業評価を行う。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか へき地診療所等の医師確保のため、少なくとも当面一定の期間は継続し、事業効果の評価してその後の継続の可否を検討する。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	